

生涯学習事業実践事例集

～自治振興センターで行う生涯学習事業～
(平成25年度事業)



平成26年8月
庄原市教育委員会
(生涯学習課)

はじめに

庄原市では、平成17年3月31日の市町合併以降、21公民館において生涯学習事業を実施してきました。平成19年度からは、公民館を順次自治振興センターへ移行し、現在22の自治振興センターにおいて、指定管理者である自治振興区により生涯学習事業を推進しています。

この事例集は、各自治振興センターにおいて実施された生涯学習事業の中から、効果の高かった事業や特徴的な事業を、各自治振興区により選定し作成いただいたものです。

目次

各施設実践事例書

庄原地域

庄原自治振興センター	【子ども料理教室】	1
高自治振興センター	【里山ふれあい活動】	2
本村自治振興センター	【本村納涼盆踊り大会】	3
峰田自治振興センター	【さくら祭り】	4
敷信自治振興センター	【大豆の栽培・加工学習交流事業】	5
東自治振興センター	【ほたるまつり】	6
山内自治振興センター	【土曜日子ども教室】	7
北自治振興センター	【地域福祉講演会】	8

西城地域

西城自治振興センター	【盆踊り伝承会】	9
八銚自治振興センター	【健康百貨店】	10

東城地域

東城自治振興センター	【第1回東城自治振興区祭り】	11
小奴可里自治振興センター	【夏期子ども自然教室「川と遊ぼう！」】	12
八幡自治振興センター	【成人講座】	13
田森自治振興センター	【たもり子育て交流会】	14
帝積自治振興センター	【愛鳥活動】	15
久代自治振興センター	【子ども週末活動（わいわい講座）】	16
新坂自治振興センター	【山城跡・道標等ふるさと探訪研修会】	17

口和地域

口和自治振興センター	【女性セミナー「ヘスティア」】	18
------------	-----------------	----

高野地域

上高自治振興センター	【リフレッシュ教室】	19
下高自治振興センター	【親子クッキング】	20

比和地域

比和自治振興センター	【さとやまフォーラム】	21
------------	-------------	----

総領地域

総領自治振興センター	【子育て講演会】	22
------------	----------	----

各施設連絡先一覧		23
----------	--	----

事業名	事業テーマ
子ども料理教室	家庭教育支援・技能習得

事業費

129,281 円（報償費 42,000 円・需用費 77,521 円・通信費 9,760 円）

事業の概要

小学生を対象とした料理教室を開催。

事業の目的

- ・料理を通して子ども同士の交流を図る。
- ・技能習得を図る。

対象者

庄原自治振興区内小学校児童(3年生～6年生)

参加人数

延べ人数 126 人

開催期間

7月20日～12月7日

実施回数

6回

事業の内容

- ・庄原市栄養士会を講師に、料理の指導を受ける。
- ・参加児童を5人のグループに分け、調理、試食、片付けまで、3時間の計画で開催する。
- ・身近な素材で、簡単に出来る料理を学習した。

特徴的な内容

- ・栄養士から、季節の食材や衛生面の事など、調理以外にも興味を引く話が聞ける。
- ・参加児童のアンケートをもとに、献立のリクエストを取り入れる。

成果・課題等

- ・実習した調理を家庭でも作ったとの声が保護者から届いた。
- ・献立リクエストがメニューに組み込まれ、参加児童に好評だった。

写真

事業名	事業テーマ
里山ふれあい活動	児童の里山体験

事業費

75,000 円（消耗品 75,000 円）

事業の概要

高小学校の 5 年生と高きのこの会（NPO 法人まつたけ山再生研究会）の会員が、高地区の里山で「しいたけ・なめこ」の植菌活動や山桜と松の苗木の植樹活動を行った。

事業の目的

高地区の里山に恵まれた自然環境を活用し、児童が生まれ育った地域への理解を進めるとともに、高地域で生活する世代の違う人との世代間交流を図る。

対象者

高小学校 5 年生と法人会員

参加人数

30 人

開催期間

3 月 7 日

実施回数

1 回

事業の内容

会員が原木にドリルで駒の穴を開け、児童たちが駒の打ち込みを行うとともに、協力して苗木用の穴を掘りながら植樹を行い世代間の交流を深めた。話題も昔の里山の状況や活用などにも及び児童の体験学習が進んだ。

- ・しいたけ・なめこ植菌作業 原木 200 本（きのこの会提供）
- ・山桜・松の植樹作業 苗木 100 本（きのこの会提供）

特徴的な内容

高地域の里山を活動拠点とする団体と高小学校児童との共同作業を行うことにより、世代間交流を図るとともに高地域の特徴的な自然環境への再認識を進め、生まれ育った古里を大事にする心の醸成に資する。

成果・課題等

児童と会員による交流が和気あいあいと楽しく行われ、家族間だけでなく地域の人々との交流が深められたが、児童の授業時間の制限があり、余裕のある時間の確保を考慮する必要がある。

写真

事業名	事業テーマ
本村納涼盆踊り大会	地域の芸能伝承と地域の交流と親睦を図る

事業費

334,627 円（需用費 319,127 円・通信運搬費 7,500 円・借上料 8,000 円）

事業の概要

毎年 8 月 14 日、本村自治振興センターで盆踊り大会を開催。

事業の目的

地域の芸能伝承と地域の交流と親睦を図り、先祖を供養する。

対象者

地域住民・帰省客他

参加人数

約 250 人

開催期間

8 月 14 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・盆踊りの数日前に、つくばねの花の方が中心となって、盆踊りの練習を行う。
- ・オープニングに子ども会が練習している和太鼓の演奏。
- ・お盆の日に地域の方、帰省家族などが参加して、くどきによる盆踊り大会・カラオケ大会・花火大会など行う。
- ・子ども会・青年会などが飲み物・焼きそば・おもちゃなどの売店をして、交流を図る。
- ・空くじなしのお楽しみ抽選会は、大変盛り上がる。

特徴的な内容

昔ながらのくどきによる盆踊りを行う。

成果・課題等

- ・帰省された方も楽しみの一つになっているので、継続していきたい。
- ・年々高齢化していくので、参加者が年々少なくなっている。

写真

事業名	事業テーマ
さくら祭り	峰田地区住民の活性化

事業費

80,000 円（音響・歌手出演料 80,000 円）

事業の概要

地域住民参加の桜まつりの開催。

事業の目的

世代間交流事業で地区住民の親睦や交流を図る。

対象者

峰田地区住民

参加人数

121 人

開催期間

4 月 21 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・青嶽山公園の吉野桜のもとで峰田地区住民が集い、さくら祭りを開催する。
- ・青嶽太鼓、記念植樹、歌手 高山秋子さん(三次市出身)の歌、カラオケ大会、全員で青い山脈を合唱、青嶽山の写真展など催し物を行う。

特徴的な内容

青嶽山公園にバスの送迎で地区住民が集い、開催する。

成果・課題等

- ・地区住民が多数参加し、桜まつりの催し物で交流を図り和気あいあいと楽しく過ごすことができた。
- ・当初の目的を達成できた。

写真

事業名	事業テーマ
大豆の栽培・加工学習交流事業	世代間交流事業

事業費

22,000 円（需用費 22,000 円）

事業の概要

小学生と地域住民とで大豆を栽培するとともに、大豆作り、大豆の加工品作りを学ぶ。

事業の目的

- ・小学生と地域住民の交流を図る。
- ・地産地消の実践。
- ・大豆の生産工程を学ぶ。その中に昔の農具の学習も含む。

対象者

板橋小学校 5 年生とまるごとメンバー地域住民

参加人数

述べ 230 人

開催期間

5 月 16 日～2 月 27 日

実施回数

6 回

事業の内容

- ・大豆栽培（播種・収穫・脱穀、それぞれの作業体験と伝承）
- ・栽培大豆の加工品作り（豆腐・きな粉・おからコロッケ・おからサラダ）

特徴的な内容

- ・脱穀作業を足こぎ千歯で行う。
- ・生産活動にとどまらず、加工品づくりにも挑戦する。

成果・課題等

- ・子供達が土に触れ、植物の成長に関心を持つようになった。
- ・学校をまきこんだ事業である為、圃場の条件が整いにくい。

写真

事業名	事業テーマ
ほたるまつり	世代間交流事業

事業費

14,000 円（報償費 14,000 円）

事業の概要

東自治振興センター周辺のホタル観察と学習。

事業の目的

自然に親しみ、水や緑の大切さを実感することにより、環境保全意識の啓発と高揚を図る。

対象者

東地区区民

参加人数

80 人

開催期間

6 月 22 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・ほたるの生態や環境づくりについて講演。
- ・ほたる観察にはてづくりエコちょうちん(地域の老人会作成)を持って観察する。
- ・幼児には講演の間、絵本サークルにより絵本の読み聞かせをいただく。

特徴的な内容

“ほたる”を通して、幼児から親世代まで、たくさんの人たちに環境づくりに関心を持ってもらうため、観察と講演会を組み合わせ実施。

成果・課題等

ホタル散策の道を前もって整備する必要がある。

写真

事業名	事業テーマ
土曜子ども教室	家庭教育支援

事業費

90,600 円（報償費 84,000 円・需用費 6,600 円）

事業の概要

毎月 1 回、地域の小学生を対象に将棋・習字教室を開設する。
（将棋：第 3 土曜日、習字：第 4 土曜日）

事業の目的

ゆとり教育で毎週土曜日が休日となったことを受け、家庭教育へ支援、地域教育及び土曜日の有効活用を目的とする。

対象者

山内小学校児童（保育所・他校からも参加あり）

参加人数

述べ 149 人（将棋：41 名・習字：108 名）

開催期間

5 月～3 月

実施回数

各 11 回

事業の内容

山内地区より講師を依頼し、土曜日午後 1 時半から山内自治振興センターにおいて、山内小学校児童を中心に将棋・習字教室を開設。

特徴的な内容

習字は、様々な作品展への応募、山内ふるさと祭への作品展示をしている。
将棋は、実践練習や詰将棋などで定石を教え、対局も行っている。

成果・課題等

土曜日が有効活用されている。

- ・習字：表現力を養い、字のバランスや成り立ちを学ぶことができる。
 - ・将棋：将棋を指すことで先を読む力がつく。
- 以上のこと等で子どもたちの学習が支援できている。

写真

事業名		事業テーマ	
地域福祉講演会		元気な地域づくりを目指して	
事業費			
52,000 円（報償費 50,000 円・印刷費 2,000 円）			
事業の概要			
「元気な地域づくりを目指して」と題して、地域を取り巻く社会情勢、人間関係の重要性など、また、北自治振興区が取り組んでいる地域振興計画策定に係わるアンケート調査結果からみた、北自治振興区の今後の在り方等について講演会を開催。			
事業の目的			
北自治振興区地域振興計画策定に係わるアンケート調査結果からみた北自治振興区の今後の在り方等について学習会を開催し、地域振興計画策定に繋げるとともに、私たちの住みよい地域づくりに向けて区民あげて取り組む。			
対象者		参加人数	
北地区民		40 名	
開催期間		実施回数	
10 月 21 日		1 回	
事業の内容			
野原建一さん（広島県立大学名誉教授）を講師に、北自治振興区地域振興計画策定に係わるアンケート調査結果からみた、北自治振興区の今後の在り方等について講演をいただいた。			
【講演内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域を取り囲む社会経済は大きく変化。人間関係の重要性。大切にしたい伝統や文化の継承。 ・男女共同参画の姿勢。地域のエネルギーはあらゆる人材の活用から。代間交流の重要性。 ・平成 24 年 7 月のアンケートからみた庄原市民の考え方は、「自治振興区の活動や活動状況」「ごみ対策やリサイクルの推進」「医療体制の確保」「子育て支援サービス」「地域生活交通の運行」など、平成 17 年と比べて全体に満足度が高まっている。しかし、「生活・施策の満足度について」は「やや不満・不安」と「不満・不安」を合わせると 47.6%とほぼ半数に近く、「満足・安心」の 22.5%をはるかに超えている。 ・北自治振興区のアンケートからみて、「成人」と「中高生」・「出身者」では異なった結果になっている。 ・地域イベントの参加者は「成人」とくに 60 歳以上で維持されている。企画・運営の点で検討要。 ・地域の男性と女性が力を合わせて「地域づくり」＝「まちづくり」に取り組むことが大切。 ・「地域づくり」はモノだけではなく、心の分野にも力を注ぐべきである。 イベントは地域の心（アイデンティティ）を育てる良い機会になる。 ・「まちづくり基本条例」を参考にして「地域づくり」を進めるとよい。 ・地域外の人材や知恵は地域の「宝」である。その活用を進めたい。 ・女性の視点は男性にない目線に立っているため、その考え方を「まちづくり」にうまく利用することが大切である。 			
特徴的な内容			
講師の先生が広島県立大学名誉教授で、普段なかなか聞くことのできない講演会であった。			
成果・課題等			
地域振興計画に取り組んでいるときでもあり、参考にすべき点が多々あり、有意義な講演会となった。			
写真			
			

事業名		事業テーマ
盆踊り伝承会		地域文化の復活と伝承
事業費		
29,025 円（報償費 6,000 円・需用費 23,025 円）		
事業の概要		
盆踊りの練習、盆踊り会の開催。		
事業の目的		
今や廃れつつある西城の盆踊りを伝承していくために、西城自治振興区主催の盆踊り会を開催する。		
対象者		参加人数
西城自治振興区住民		150 人
開催期間		実施回数
4 月 12 日～8 月 19 日		10 回
事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年 7 月、「西城の盆踊りを後世につなげたい！」の思いを持った有志が集まり、盆踊り伝承会を発足させ、月 1 回の練習を開始。平成 25 年 5 月、盆踊り実行委員会を立ち上げ、第 1 回盆踊り開催に向けて、自治振興センターで月 2 回の練習日を設け、住民へ練習参加を呼びかけた。また、実行委員が指導者となり、地域へ出向いて指導も行った。 平成 25 年 7 月 27 日、ショッピングセンターウイル西城の駐車場で第 1 回西城自治振興区盆踊り会を開催。実行委員が口説く盆踊り歌に合わせ、他の委員たちが踊りを先導、一般観客も加わり盆踊り歌 4 曲（庭づくりとばんばら・一つ拍子・山づくし・四つ拍子）と尾道ばやしの 5 曲を踊った。 毎年恒例の土曜夜市と日程を併せて開催し、大勢の人出で賑わった。 		
特徴的な内容		
<ul style="list-style-type: none"> 自治振興センターで生涯学習活動をしている住民らが、一つの伝統文化が消えつつあることを憂い自発的に発足させた伝承会であるため、主体的に取り組みが行われた。 土曜夜市と併せて開催することで、地元の商工会、観光協会、ショッピングセンターとの協力のもと、夏祭りとして賑やかに開催することができた。 		
成果・課題等		
<ul style="list-style-type: none"> 昔からの夏の風物詩であった盆踊りを、二十数年ぶりに復活することで、住民交流が促進された。 盆踊りを学びたい人たちを、掘り起こすことができ、伝統文化継承への意欲を促す事業となった。 会への参加者の多くが高齢者世代であるので、次世代へ伝えていくために、若中年層の踊り手の数を増やしていくことが課題である。 		
写真		
 		

事業名		事業テーマ
健康百貨店		健康体操を主体とした健康づくり
事業費		
5,000 円（報償費 5,000 円）		
事業の概要		
健康体操や野外活動、健康講座等を含めた健康づくり事業		
事業の目的		
健康寿命の延長		
対象者		参加人数
体操等によって健康づくりを実践したい人		46 人
開催期間		実施回数
9 月 20 日～3 月 27 日		3 回
事業の内容		
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進展するなか、健康体操や野外活動、健康講座等を含めた健康づくり事業を通じて、元気な高齢者づくりを行い、健康寿命をのばすことを目的とした事業である。 ・9 月 30 日に立上げ準備会を行い、実施体制と平成 26 年度に向けた主要計画を立てた。 ・11 月 25 日に事業立ち上げ記念として初回の「健康講座」を行った。 ・3 月 27 日に初回の「健康体操」を行った。 ・平成 26 年の 4 月～12 月末までに、健康体操 16 回、野外活動 3 回、健康料理・お菓子づくり教室 2 回、グラウンドゴルフ大会 1 回、健康講座 1 回を予定している。 		
特徴的な内容		
健康体操をベースにしつつ、野外活動や視察等もおりませながら、楽しく長続きのする活動を目指している。		
成果・課題等		
<ul style="list-style-type: none"> ・初回の健康体操には 27 名の参加があり、5 月末までで 126 名（月平均約 50 名）の参加が見込め、当該事業は順調に立ち上がった。 ・今後は、事業を継続・発展させる（マンネリ化の防止を含む）ために、たえず魅力的なプログラムの開発を心がけておく必要がある。 		
写真		
 		

事業名	事業テーマ
夏期子ども自然教室「川と遊ぼう！」	地域の自然を愛する心を育む

事業費

50,973 円（講師料 14,000 円・需用費 36,973 円）

事業の概要

夏休み子ども教室として、川での体験教室を開催。

事業の目的

川遊びを通して、地域の自然を愛する心を育み、世代間の交流を図る。

対象者

小奴可の里自治振興区の小学生

参加人数

50 名

開催期間

8 月 6 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・川の魚について、伝統漁法について学習した。
- ・川で遊ぶときの安全対策について学習した。
- ・川での遊泳を行った。
- ・アマゴのつかみ取りを行い、子ども達が自分たちの手でさばき、塩焼きにした。
- ・スイカ割りを行った。

特徴的な内容

- ・子供達の自主性に任せるようにし、子供達が、自ら川での遊び方を考えて遊んでいた。
- ・講師や周りの大人にアマゴのさばき方を教わったり、塩焼きにするのを手伝ったりし、世代間の交流になっている。

成果・課題等

- ・子どもからも大人からも好評であり、毎年楽しみにしている参加者が多い。
- ・地域の自然の美しさ、楽しさを実感でき、自然環境を守ることの大切さを学ぶことができた。
- ・より多くの協力者の確保が必要である。

写真

事業名		事業テーマ
成人講座		健康・教養講座
事業費		
151,000 円（報償費:6,000 円・需用費:10,000 円・通信運搬費:13,500 円・借上料:120,000 円・その他:1,500 円）		
事業の概要		
歴史・健康・文化等をキーワードに開催する講座		
事業の目的		
心の豊かさの醸成と健康推進、教養を高める。		
対象	参加人数	
講座への入会会員	述べ 151 名	
開催期間	実施回数	
5 月 30 日・7 月 13 日・9 月 12 日・11 月 22 日 1 月 23 日・3 月 5 日	6 回	
事業の内容		
第 1 回 出前トーク（国民健康保険のはなし） 第 2 回 視察研修（瀬戸内の手作りアイスと尾道造船進水式） 第 3 回 視察研修（松江城と堀川めぐり） 第 4 回 音楽療法と昼食・雑談（音楽療法士を招いて） 第 5 回 映画観賞会（「奇跡のリンゴ」観賞） 第 6 回 八幡で輝く元気づくり教室（「脳卒中の初期症状とその対応」庄原赤十字病院医師を招いて）		
特徴的な内容		
成人講座運営委員会（委員 7 名）で年間の事業内容を検討し実行している。		
成果・課題等		
毎年度退会する会員は非常に少なく参加率も高い人気の講座である。		
写真		
 		

事業名	事業テーマ
たもり子育て交流会	教育交流と地域連携

事業費

29,536 円（事業費の内訳：需用費 29,116 円・手数料 420 円）

事業の概要

保育所幼児、小学校児童及び地域住民が参加し、協同して Xmas ツリーを作る活動を通じて交流することにより、お互いを知り、地域で生涯学習の基礎づくりができるよう子育て交流会を行う。

事業の目的

「後伸びする力」を培う幼児教育と基本的な資質を養う義務教育というそれぞれの特性を認識し、自治振興区と関係機関が連携して、地域の宝である子供たちを発達段階に応じて育てる。

対象者

保育所幼児、小学校児童及び保護者と地域住民

参加人数

64 人

開催期間

12 月 19 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・ 幼児、児童及び保護者によるオーナメント及びクリスマスツリーの作成
- ・ ランチ交流
- ・ 保育所、小学校における活動や生活状況の紹介（DVD と発表）
- ・ 子育てを巡る意見交換
- ・ 地域の歴史や風土、民俗の学習

特徴的な内容

同じ地域に暮らしながら日ごろ顔を合わせる機会が少ない保護者が、子育てを巡って意見を交換し、保育所小学校の様子を知ることにより、体系的な教育の在り方を学ぶとともに、地域社会とのかかわりを大切にする子育ての実践を目指す。

成果・課題等

初めての試みであったが、大勢の参加を得てお互いを知ることにより、地域の一員としての自覚と安心感が高まったのではないかと。特に保育所幼児を抱える世代は、小学校を知ることにより子育ての方向性について、幅広い知見が得られ、好評であった。今後、若い世代が中心的に実践していく力をつけていくことが課題。

写真

事業名	事業テーマ
第 1 回東城自治振興区まつり	生涯学習成果発表と自治会との連携

事業費

248,403 円（需用費 248,403 円）

事業の概要

東城自治振興区生涯学習教室 53 団体の一年間の成果発表、自治会からステージ発表、バザーを実施。

事業の目的

生涯学習教室として活動している団体の成果として、作品展示やステージ発表への参加を促進し、東城自治振興区内の一体感の醸成と連携を図る。

対象者

東城町住民、その他地域

参加人数

延べ 850 人（ステージ発表 650 人、展示会 200 人）

開催期間

3 月 1 日～3 月 6 日

実施回数

1 回

事業の内容

- 3 月 1 日：ステージ発表会 東城文化ホール 午前 10 時から午後 3 時
- ・生涯学習教室 14 団体、自治会 5 団体、東城保育所の 20 団体が東城文化ホールで発表。
 - ・音響照明技術養成講座で学んだ人が中心に舞台設営、音響、照明を行う。
 - ・各自治会を中心にうどん、おこわ、コーヒーのバザーを行う。
- 3 月 4 日～6 日：生涯学習教室作品展示発表 東城自治振興センター
- ・書道教室 ・和紙ちぎり絵教室 ・陶芸教室 ・フラワーアレンジ教室 ・東城写遊会
 - ・短歌教室 ・ウーマンカレッジ ・生花教室 ・東城老人大学

特徴的な内容

まつりの企画運営は、生涯学習常任委員、教室代表者、自治会代表者をもって構成する実行委員会を組織し開催。

成果・課題等

東城公民館から東城自治振興区へ移り自治会の協力があり参加団体が増えた。また東城自治振興センター・東城文化ホールが新しくなり来場者も多く大盛況に終わる。来年度は各自治会の特産品を紹介、販売するテント村を併設し、まつりの盛り上げを図りたい。

写真

事業名	事業テーマ
愛鳥活動	命とふれあい

事業費

66,300 円（報償費 3,000 円・需用費 2,190 円・印刷製本費 61,110 円）

事業の概要

野鳥のえさづくり、えさかけ、カレンダーづくり

事業の目的

- ・野鳥に興味をもち、観察力を身につける。
- ・愛鳥活動を通して、命の尊さを学ぶ。
- ・親子、友達とのふれあいを図る。

対象者

親子・一般

参加人数

58 人

開催期間

5 月～3 月

実施回数

3 回

事業の内容

- ・野鳥のためのえさをつくる。（ひまわり、とうもろこしなど）
- ・12 月には野鳥のためのえさかけをする。
- ・野鳥を描いたカレンダーを作成し、地域内に配布する。

特徴的な内容

- ・ひまわりやとうもろこしなどを栽培し、種をとり、野鳥の餌としてあたえる。
- ・昭和 38 年の豪雪で多くの野鳥が餓死したのをきっかけに、帝釈小学校で始まり自治振興区が継承している事業である。
- ・図鑑を見て、野鳥の絵をデッサンし、カレンダーに仕上げ、地域内に配布している。

成果・課題等

- ・帝釈小学校が休校になり、小学校で経験した児童がわずかになり、継承が難しくなった。
- ・野鳥のデッサンは、指導者をつけたことにより、精密な絵が描けるようになった。

写真

事業名	事業テーマ
子ども週末活動（わいわい講座）	体験学習

事業費

168,575 円（報償費 15,000 円・需用費 61,325 円・借上料 92,250 円）

事業の概要

子ども週末活動の一環として体験学習を実施。

事業の目的

田舎では体験出来ない事を体験学習し、多くの事を学び子どものころから見聞を深める。

対象者

園児・小学生・保護者

参加人数

20 人

開催期間

3 月 1 日

実施回数

1 回（わいわい講座としては計 7 回）

事業の内容

- ・広島健康科学館にて人体への興味と関心を高め、人体の不思議と生命の尊さを学んだ。
- ・広島ビッグウェーブにて講師を依頼しスケート体験教室を開催した。

特徴的な内容

子ども週末活動として、保護者と園児・小学生・中学生と交流を図りながら多くの体験学習を行っている。今回は、日頃では体験出来ないスケート体験と人体の学習をおこなった。

成果・課題等

- ・人体への興味と関心を持つことが出来生命の神秘にも触れる事が出来た。又スケートは日頃体験出来ない為、保護者も子ども一生懸命頑張って楽しく体験出来た。
- ・今回、気になる課題は特に見当たらなかった。参加者全員の目の輝きが印象的であった。

写真

事業名	事業テーマ
山城跡・道標等ふるさと探訪研修会	ふるさと新坂を知る講座

事業費

38,800 円（需用費 30,800 円・5,600 円）

事業の概要

新坂住民を対象に講座を行った。新坂にある戦国時代の山城跡や近世の道標などをバスで移動し、現地へ直接足を運び、その場で説明を受けた。

事業の目的

古い歴史と文化を持つ新坂には、非常に重要な歴史のある山城跡や道標がある。しかし、新坂に住んでいる人でも、あるのは知っているがその歴史的価値までは知っている人が少ないという実態があり、それでは後世にこの歴史ある山城跡や道標の保存、伝承と活用ができないということでこの研修会を行った。

対象者

新坂自治振興区住民

参加人数

16 人

開催期間

10 月 23 日

実施回数

1 回

事業の内容

ふるさとの歴史ある山城跡や道標をバスで実際に現地へ行き、それぞれの場所で説明を聞いた。

今回の研修会では、7つの山城跡と4つの道標、他にも古墳などを巡った。山城跡には、土塁、郭、井戸などが今でもはっきりと残っており、道標についてはそのままの形で今でも新坂の各地に残在している状態を見学するとともに歴史的意義について研修を受けた。

特徴的な内容

新坂地域でも少子高齢化が進んでいる中、新坂に前世より守られてきた山城跡や道標、そしてその歴史を後世に伝承していくためにも、現代の住民がその歴史的価値を再確認するために実施した。実際に現地へ行ってみることで、そしてその場で歴史を学ぶことでより市民意識を高め、いずれ今回の参加者が伝承者となるようにする。また、HP 等でも地域トピックスとして山城跡や道標等を掲載しているため、観光客や歴史に興味がある方が来られたときガイドができるようにするため実施した。

成果・課題等

参加者の多くが、長く新坂に住まれている人であったが、はじめて新坂の歴史と文化を知った人も多く、これからは新坂を知る講座などを実施し、郷土愛を深めていける講座がしていけたらと思っている。この研修会で、学んだことにより文化財の保存と活用を進めるためのリーダー養成の一步となった。

写真

事業名	事業テーマ
女性セミナー「ヘスティア」	女性による地域づくりを考える

事業費
50,000 円（報償費 50,000 円）

事業の概要
女性による地域づくりに関する講演を聞いた後、参加者全員で意見交換をした。

事業の目的
女性の地域参画を促し、女性リーダーを育成する。

対象者	参加人数
女性部員	151 人（述べ人数）

開催期間	実施回数
8 月 25 日・2 月 16 日	2 回

事業の内容
<p>〔第 1 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「女性による地域づくり」 講師：志々田まなみさん（広島経済大学） ・意見交換会 <p>〔第 2 回〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会「私と地域のかかわり方」 講師：竹村佑子さん（島根県飯南町／地域おこし協力隊） ・骨盤体操 滝口季里花さん（庄原市） ・意見交換会 <p>『ヘスティア』とは・・・おおらかで慈悲深いカマドの神様として、ギリシャ神話に登場する女神</p>

特徴的な内容
<ul style="list-style-type: none"> ・講師の体験談や具体的な事例を聞く実践的な講演会とした。 ・意見交換会では、リラックスしたムードで話せるように、お茶を飲みながらの談話形式とした。

成果・課題等
<p>〔成果〕</p> <p>普段は地域活動に参加しない傾向にある方々にもご参加いただき、意見交換会では「今後は地域活動へ参加したい」といった前向きな意見が多数出た。</p> <p>〔課題〕</p> <p>女性リーダーの育成には、まだまだ時間と手間をかける必要がある。</p>

写 真



事業名	事業テーマ
リフレッシュ教室	心と体をリフレッシュ

事業費

6,582 円（需用費 6,582 円）

事業の概要

高齢者を対象に、年間を通じてウエイトを使った筋力トレーニングや昔ながらの遊びを使った脳トレーニングを行う。

事業の目的

高齢者の心と体の老化を予防する。

対象者

高野地域住民

参加人数

各回約 10 人

開催期間

毎月 1 回

実施回数

12 回

事業の内容

- ・握力・バランスの測定
- ・ウエイトを使った両手・両足の筋力トレーニング
- ・昔ながらの遊び（お手玉・じゃんけんなど）を使った脳トレ

特徴的な内容

参加者は地域内の顔見知り同士なので、時には日常の出来事や心配事を話す時間もあり、幅広くコミュニケーションの場となっている。

成果・課題等

- ・月 1 回の訓練が習慣づいてきた。
- ・参加された方が小地域でのサロンにも活用されている。
- ・地域内の公共交通の便が少なく、参加したくてもできない状況がある。

写真

事業名	事業テーマ
親子クッキング	高野の食材によるたかの体験

事業費

26,838 円（報償費 18,500 円・需用費 8,338 円）

事業の概要

高野の食材を使った親子によるファミリー・クッキング教室を開催。

事業の目的

地産地消と食育を推進するとともに、参加者間の交流を図るため、自治振興区活動促進事業（食のまちおこし事業）により導入したオープンを有効活用し、調理実習を行った。

対象者

高野地域住民

参加人数

14 人

開催期間

8 月 9 日

実施回数

1 回

事業の内容

- ・パン作り : オープンで無添加のテーブルパン作り
- ・夏野菜のスープ : 高野町産の夏野菜でスープ作り
- ・バター作り : ふくふく牧場の牛乳でバター作り

『ふくふく牧場』・・・口和町。5 頭のジャージー牛を放牧で飼育。放牧地の牧草畑は農薬不使用。

特徴的な内容

地元自治振興区内の栄養士、隣町（口和町）牧場からの講師による調理実習と、技術の習得に努めた。

成果・課題等

高野の食材で調理した食事をみんなで楽しくいただき、夏休みの貴重な体験となった。

写真

ジャージー牛乳のバター作り



高野でとれた夏野菜のスープ作り



無添加のパン作り

事業名	事業テーマ
さとやまフォーラム	地域資源の再発見

事業費

80,000 円（報償費 55,000 円・需用費 25,000 円）

事業の概要

地域で保護活動を行なっているヒゴタイと、現在比和自然科学博物館で提唱されている知的遊園地構想をテーマにフォーラムを開催した。

事業の目的

比和には住んでいる人も気づいていない素晴らしい資源がたくさんある。その資源を掘り起こすとともに、地域の文化や自然史について科学的に学習する方法を身に着ける。

対象者

一般（一部フィールドワークは全年齢）

参加人数

75 人

開催期間

9 月 1 日・11 月 16 日

実施回数

2 回

事業の内容

- ・9 月 1 日 さとやまフォーラム①「ヒゴタイ生物多様性と環境」
地域住民や小学生が保全活動を行なっているヒゴタイについて開催。
午前中はフィールドワーク、午後は基調講演と報告及び 4 人のパネラーによるパネルディスカッションをした。
- ・11 月 16 日 さとやまフォーラム②「知的遊園地フォーラム」
知的遊園地とは何か、ということについて 4 人の発表者の考えを聞いた。その後、博物館長の案内で比和自然科学博物館を見学し学習を深めた。

特徴的な内容

比和の宝を生かした「科学的考察」の方法を考えるプログラムである。

成果・課題等

一見難しそうな表題だったが、多くの参加者から「わかりやすかった」「身近にとっても素晴らしいものがあることを改めて知った」など意見が寄せられた。事業を継続する予定なので、より多くの市民に周知して広く参加してほしい。

写真

事業名	事業テーマ
子育て講演会	人権教育

事業費

154,380 円（報償費：115,500 円・費用弁償 38,800 円）

事業の概要

子育てと人権教育についての講演会

事業の目的

家庭や地域、学校など様々な環境の中で子どもを取り巻く問題を身近に捉え解決する糸口を学ぶ。

対象者

自治振興区内地域住民

参加人数

120 人

開催期間

11 月 3 日

実施回数

1 回

事業の内容

演題「あーよかったあなたがいて」 講師：仲島正教さん

小学校の教師経験を基に、教育現場で得た子どもたちとの様々な感動体験を交えながら参加者の大人たちに今だからこそ認識しなければならない「人権意識」についての講演。子育てや学校教育における「真の人権教育」の大切さを語る教育者。

「幼児期から思春期にかけての子育てが、人権教育そのものである」

特徴的な内容

「優しさ」という温かい貯金「体温のあるコトバ」「子どもの夢の最後の応援団は親と教師」など、心に深く刻まれる多くの言葉を聞くことが出来た。

成果・課題等

「親の姿を、子どもはしっかりとみている。いいも悪いもそれが生き方のお手本」「しんどいよ子育ては・・・でも幸せ。子どもの笑顔と寝顔は最高にかわいい」など多くの言葉を聴き、反省と感動の繰り返し。誰もが子や孫が生まれた時を思い出し、「あーよかったあなたがいて」と心に響く時間であった。

写真

連絡先一覧

地域	施設名	郵便番号	住所	電話番号 (内線)	Eメールアドレス
庄原	庄原 自治振興センター	727-0013	庄原市西本町2-17-15	72-3777	shobara-ziti@peace.ocn.ne.jp
	高 自治振興センター	729-5811	庄原市高町821-4	72-0935 (3050)	taka.jichi.ss@gmail.com
	本村 自治振興センター	727-0623	庄原市本村町1234-1	78-2743 (3060)	hon.jichi@gmail.com
	峰田 自治振興センター	727-0622	庄原市峰田町1445-2	78-2849 (3070)	mineta.jichi@gmail.com
	敷信 自治振興センター	727-0014	庄原市板橋町203-6	72-0571 (3080)	shinou.jichi@gmail.com
	東 自治振興センター	727-0023	庄原市七塚町11-2	72-2854 (3090)	higashi.jichi@gmail.com
	山内 自治振興センター	729-6131	庄原市山内町813-4	74-0451 (3100)	yamanouchi.jichi@gmail.com
	北 自治振興センター	727-0203	庄原市川北町154-3	72-0564 (3110)	kita.jichi.ss@gmail.com
西城	西城 自治振興センター	729-5722	庄原市西城町大佐734	82-2175 (3810)	saijyo.jichi@gmail.com
	八銚 自治振興センター	729-5601	庄原市西城町小鳥原615-1	84-2363 (3820)	yahoko.jichi@u-broad.jp
東城	東城 自治振興センター	729-5121	庄原市東城町川東1188-2	2-0487 (2466)	tojyo@aiores.ocn.ne.jp
	小奴可自治振興センター	729-5502	庄原市東城町内堀1100-1	5-0057 (3310)	onuka@vesta.ocn.ne.jp
	八幡 自治振興センター	729-5456	庄原市東城町森2668-2	4-0205 (3320)	yawata@vesta.ocn.ne.jp
	田森 自治振興センター	729-5127	庄原市東城町栗田1715-1	2-0661 (3330)	tamori@vesta.ocn.ne.jp
	帝釈 自治振興センター	729-5244	庄原市東城町帝釈未渡2021	6-0055 (3340)	taishaku@vesta.ocn.ne.jp
	久代 自治振興センター	729-5122	庄原市東城町久代2105-1	2-0148 (3350)	kusiro@vesta.ocn.ne.jp
	新坂 自治振興センター	729-5132	庄原市東城町三坂330	2-2252 (3360)	shinsaka@vesta.ocn.ne.jp
口和	口和 自治振興センター	728-0502	庄原市口和町向泉934-4	87-2213 (3620)	kuchiwa.jichi@gmail.com
高野	上高 自治振興センター	727-0402	庄原市高野町新市1283	86-2214 (3900)	kamitaka.zichi@gmail.com
	下高 自治振興センター	727-0423	庄原市高野町下門田8	86-2679 (3910)	simotaka8@gmail.com
比和	比和 自治振興センター	727-0301	庄原市比和町比和1119-1	85-2600 (3701)	hiwa.jichi@gmail.com
総領	総領 自治振興センター	729-3703	庄原市総領町下領家278	88-3067 (3502)	soryojichi67@yahoo.co.jp

市外局番 0824 (東城地域 08477)

生涯学習事業実践事例集

～自治振興センターで行う生涯学習事業～ (平成 25 年度事業)

平成 26 年 8 月発行



庄原市教育委員会 生涯学習課社会教育係
〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号

電話: 0824-73-1188 e-mail: syogai-syakai@city.shobara.hiroshima.jp